

令和5年度（2023年度） 今治北高校大三島分校 シラバス

教科	地理歴史	科目	世界史探究	学年	第2学年	類型	Ⅱ型文系
単位数	2単位	教科書	詳説 世界史（山川出版社）				
補助教材							

学習目標	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。
------	--

学期	月	単元	学習内容・単元の目標	定期 考査
1 学期	4月	第1部 諸地域の歴史的特質の形成 第1章 文明の成立と古代文明の特質	・おもな古代文明の立地について考察し、文明が生まれるために必要だった条件を理解する。 ・都市国家に富や権力が集まった理由を多面的・多角的に考察し表現する。	中間考査
	5月	第2章 中央ユーラシアと東アジア世界	・騎馬遊牧民が強大な国家を築くことができた理由を多面的・多角的に考察し表現している。 ・新たに現れた「皇帝」の特質について、それまでの「王」と比較しながら理解する。	
	6月	第3章 南アジア世界と東南アジア世界の展開	・東アジアでは、気候の異なる地域が混在していたことを理解し、それぞれの気候が各地の生産などに与えた影響を考察し表現する。 ・唐の勢力圏の広がりを理解する。 ・仏教やジャイナ教などの新たな宗教に共通する点について理解する。 ・ヒンドゥー教が南アジアの社会に根づいていった背景を多面的・多角的に考察し表現する。	
	7月	第4章 西アジアと地中海周辺の国家形成	・アケメネス朝が広大な領域に中央集権的支配を築ことができた背景や要因を理解している。 ・ローマ共和政の特徴について、ギリシア民主政と比較したうえで多面的・多角的に考察し表現する。	期末考査
2 学期	8月			中間考査
	9月	第5章 イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成	・アラブ＝ムスリム軍による大征服の展開を理解する。 ・ヨーロッパの自然条件と大規模な人の移動との関係について理解する。 ・ビザンツ帝国の繁栄について、同時期の西ヨーロッパと比較したうえで理解する。	
	10月	第Ⅱ部 諸地域の交流・再編 第6章 イスラーム教の伝播と西アジアの動向	・イスラーム化が中央アジアにもたらした変化について理解している。 ・南アジアにおいてイスラーム教が受け入れられていった経緯を理解している。	
	11月	第7章 ヨーロッパ世界の変容と展開	・中世の西ヨーロッパにおいてローマ＝カトリック教会が普遍的な権威を持つにいたった背景を理解する。 ・十字軍の遠征の経緯を理解し、それが社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。	期末考査
3 学期	12月			
	1月	第8章 東アジア世界の展開とモンゴル帝国	・モンゴル帝国が成立した背景を多面的・多角的に考察し表現する。 ・モンゴル帝国による支配が東アジアにおよぼした影響について理解する。	学年末考査
	2月			
	3月			

学習の方法	・講義型の授業を中心としたうえで、動画や画像などの資料を活用する。 ・グループワークやペアワークの時間をとり、生徒が主体となって考える時間をつくる。
-------	---

評価の観点	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を身に付けているとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めている。